

単元計画支援シート（教科別の指導編）

【単元全体について】

学部	小学部	学年・グループ	2年生
教科	体育	内容及び段階	A 体づくり運動遊び Ⅰ段階
単元名	めざせ、さーきっとますたー ～サーキット運動 歩く・跳ぶ～		期間 9月8日（水）～10月27日（水）
単元目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	器具に応じた体の動かし方が分かり、歩く、跳ぶなどの動きができる。	取り組むコースや器具を選び、コースや器具に応じて体の動かし方を工夫する。	自分から繰り返し活動に取り組もうとする。
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	器具に応じて、体のバランスを取ったり、体の移動をしたりしている。	取り組むコースや器具を選び、コースや器具に応じて体の動かし方を工夫している。	自分から器具で体を動かそうとする。

【単元計画】

時数	日	主な学習活動	主な評価の観点		
			知・技	思・判・表	主
1～3	9／8	○「さーきっとますたーへのみち」の学習について知る。 ・グループ分け ・種目 ・目標の確認 「さーきっとますたーへのみち れんしゅう」○<ぶつからないで でこぼこハードル>	◎		○
	9／15		◎		○
	9／22		◎		○
4、5	9／29	「さーきっとますたーへのみち ちからだめし」	○	◎	○
	10／6		○	◎	○
6、7	10／13 10／20	「めざせ！さーきっとますたー」○さーきっとますたー認定試験のコースを繰り返し行う。	○	○	◎
8	10／27	○さーきっとますたー認定試験	○	○	◎

単元全体における留意事項【支援の手立て、準備物等】

・体の動きや使い方の様子から、学年17名を6名、6名、5名の3つのグループに分け、グループの実態に応じた取組をする。
・3つのグループからそれぞれA B Cの児童を抽出し、単元の評価（規準・基準）及び個別の評価に取組み、授業改善につなげる。
・1次～2次では1時間につき1つの種目に重点的に取り組み、器具に応じた体の使い方の工夫を引き出し、身に付けたい動きの定着を図る。
・体の使い方を工夫したり、「できた」と実感し自分から挑戦してみようという意欲が沸いたりするように、種目ごとに実態に応じた器具を2～3種類用意する。
・毎回「がんばりカード」で子どもと習得状況を確認し、単元の最終回で一人ずつコースを回って発表し、認定証を授与する。
・活動に取り組む前に グループごとに「動きのポイント」を確認する。活動の最後にポイントに留意し体を動かさせたか振り返りをする。

【個別の評価規準】 評価基準 ◎：十分に達成できた ○：概ね達成できた △：支援や活動を工夫することで達成できた

児童	評価の視点	段階	評価規準	評価	特記事項（個人内評価等）
A	知識・技能	Ⅰ段階	器具に応じて、体のバランスを取りながら、スムーズに跳んだり進んだりすることができる。	◎	友達の様子を見て「いいね！」と言っていた。疲れやすいが、本単元では休憩することなく活動に取り組めた。
	思考・判断・表現	Ⅰ段階	選んだコースや器具で体を動かす中で、体の使い方を工夫し、伝える。	◎	
	主体的に学習に取り組む態度	Ⅰ段階	体を動かすことに面白さを感じ、自分から活動に取り組む。	◎	
B	知識・技能	Ⅰ段階	器具に応じた体の動かし方が分かり、バランスを意識しながら跳んだり進んだりすることができる。	◎	体育への苦手意識があったが、他の種目でも自分から参加することができた。
	思考・判断・表現	Ⅰ段階	バランスの取り方を工夫しながら、選んだコースや器具で体を動かす。	○	
	主体的に学習に取り組む態度	Ⅰ段階	達成感を感じながら自分から活動に取り組む。	◎	
C	知識・技能	Ⅰ段階	器具に応じて、跳んだり進んだりすることができる。	○	教師と一緒に体を動かし、笑顔がみられるなどして楽しむ様子がみられた。
	思考・判断・表現	Ⅰ段階	体の使い方を工夫しながら選んだコースや器具で体を動かす。	○	
	主体的に学習に取り組む態度	Ⅰ段階	達成感を感じながら活動に取り組む。	◎	

【単元の評価】 単元全体を通した総括的評価

単元目標を踏まえた評価
別紙に記載